

さて、夜間宿所の列が伸びる時期だが

あらためて、生活保護制度のおさらい。「くどい」と言わないでね。

生活保護制度活用のおさらい

◎困窮の事実に基づいて申請

- ・ 毎月の収入が概ね12万円以下である。
- ・ 現金・預金を合わせても8万円以下である。
- ・ 65歳未満にあつては、求職活動をしているが、安定した収入を伴う職に就く事ができないでいる。
- ・ 夜間宿所を利用していたり、センター周辺や公園・路上で野宿している人は、安定した居所を確保できていないので、求職活動が実を結ぶことは、先ず期待できません。とりあえず、生活保護申請をして、居所と生活費の確保を優先させるべきです。
- ・ 夜間宿所は、1週間、1ヶ月と継続して利用する施設ではありません。継続利用から抜け出せない状態の人は、生活保護申請して、生活環境を変えようとする努力をすべきです。

◎生活保護申請する窓口

- ・ 生活保護申請する窓口は、夜間宿所利用者やセンター周辺・あいりん(釜ヶ崎)地域内で野宿している人は、大阪市立更生相談所です。
- ・ その他の場所で野宿している人、まだアパートが確保できている人は、その場所の区役所です。

4月から、生活保護は厳しくなつた? ↓そんな萌しはありません

役所の新年度は始まつたばかり、先は判りませんが

「4月から、生活保護の扱いが厳しくなつてゐるのだからか」と、聞かれました。

「そんなことはないでしょう」と答えると、「じゃ、まだゆつくりでいいな」。

いやいや、ゆつくりしないで下さい。これまでの経験からいえば、4月以降は、夜間宿所の列が長くなる時期です。パンクする事態にはならないでしようが、

新しい利用者が、増える傾向にあることは明らかです。

釜ヶ崎にはこれまで縁がなかったのに、特掃の登録のために、釜ヶ崎に移つてきた人に会いました。4月いっぱい、新規登録がありますから、まだまだ増えると思われます。

釜ヶ崎夜間学校ニュースは、これまで、「特掃・夜間宿所・炊き出し」の三点セットの生活は、確実に寿命を縮める。一日も早く、生活保護制度を活用して、

の上の生活に移行しよう、と、呼びかけ、お節的な情報を提供し続けてきました。これからも、変わりなく続けるつもりではありません。

「特掃・夜間宿所・炊き出し」の三点セットの生活から、生活保護制度を活用して、畳の上の生活に移行するよう勧められている立場としては、新しく三点セットを頼って釜ヶ崎に来る人が増え、定着することは、避けるべき事と思えます（押しつけがましい物言い、ゴメンナサイ）。

「頑張る」気持ちは、尊いけれど、新しく来る人たちに、三点セットで頑張れる手本を示すのではなく、生活保護活用で、新しい生活へ踏み出す、数多くのお手本を示してください、お願いいたします。

国も地方自治体も、財政赤字で、生活保護はお荷物扱いのように、世間広くいわれがちですが、生活保護自体がなくなるわけではありませんし、無くすことができるわけのものでもありません。

生活保護受給の窓口が狭まる、とか、広くなると言うような事を心配するよりも、実際に窓口で申請する方が、確実に実態が判ります。

もし、狭まっているのなら、具体的事実を伝えてください。共に広げる努力をしたいと考えています。

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも（永住権を持つ外国人を含む）活用することが出来ます。

65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所（市更相）は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡ったところにある建物です。

医療センター（大阪社会医療センター）は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

「自助努力援助のための手引き書—生活保護は怖くない」（無料）をまだ受け取っていない人は、声を掛けてください。手引き書を読んだ後は、役所で保護申請、不動産屋へ。

20歳から50歳代前半くらいまでの人は、自立支援センターを活用する道もあります。寝場所・食事を提供し、就職活動を支援する施設です。入所希望者は、大阪市立更生相談所（市更相）で相談を。

不動産屋さん紹介（気軽に相談を。しかし、真剣に）

※ 双葉商事さん（電話 ~~06・6561・4392~~）

鶴見橋商店街の奥（西の端）。敷金不要の今すぐ入れる物件もあります。勿論、風呂付き敷金要の物件も。とりあえず電話で時間を決めて、その後の段取りを決めましょう。

※ フラップさん（電話 ~~06・6658・8888~~）

26号線花園交差点、イズミヤの南6～7メートル。西成区以外の物件もあります。

必ず、実物（部屋）を2～3見て比較、周囲の環境を考えて、得心して決めましょう。